

スリランカ民主社会主義共和国の紅茶農園とティー プッカーの状況

著者	井関 敦子, 石村 久美子
雑誌名	三重看護学誌
巻	12
ページ	85-88
発行年	2010-03-20
その他のタイトル	The circumstances of tea estates and tea pluckers in Sri Lanka
URL	http://hdl.handle.net/10076/11366

スリランカ民主社会主義共和国の紅茶農園と ティーpluckerの状況

井関 敦子¹, 石村久美子²

Key Words: tea estate tea plucker pregnant women

我々は2006年2月、スリランカ民主社会主義共和国（以下スリランカ）の中部州ヌワラエリヤ県の紅茶農園の生活実態と妊婦の健康状態の調査に出向いた。そこで見聞きした農園の様子や、茶摘み労働に従事する女性（tea plucker）の姿や健康状態について紹介する。

1. はじめに

スリランカはインド亜大陸の南東沖に位置する。ポルトガル、オランダ、英国の統治を経て1948年に独立し、1972年に共和国となった。北海道より少し小さい国土は9州から成り、約1,967万人（2005年データ）が住んでいる。民族は、多数派で仏教徒のシンハラ人とヒンドゥ教徒のタミル人、その他の民族から成る。スリランカは貧しい国のひとつであるが、優れた保健福祉政策で良好な保健指標を誇る。しかし地域格

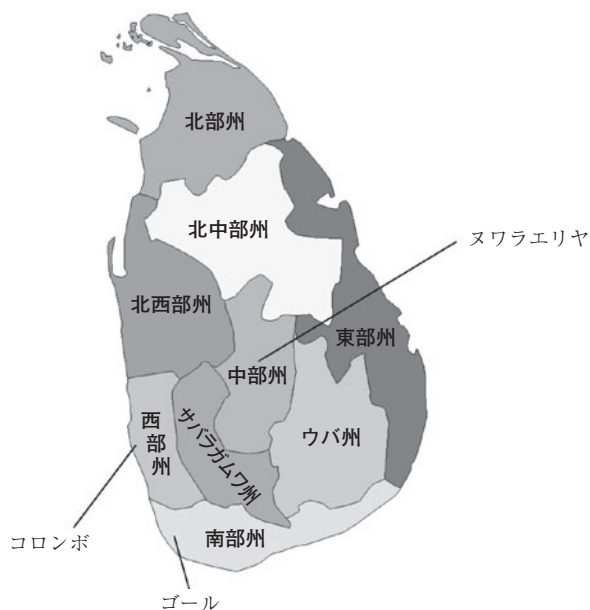


図1 スリランカ民主社会主義共和国

差が大きく、ヌワラエリヤなどの紅茶農園部は特に貧血や低栄養といった女性の健康問題が存在する。

2. 2006年ヌワラエリヤ調査

1) 空港からホテルまで

バンコックを経由し、深夜、コロンボ国際空港に到着すると、こじんまりしたほの暗い空港には多くの乗客が待っている。我々は予約したホテルの迎えのタクシーに乗り込むが、街灯も少ない道をひた走る無口なドライバーは、本当にホテルの関係者なのかと心配になってくる。「あなた、本当にホテルに向かっている？」と不安を隠せない我々に、ドライバーは「マダム、大丈夫だ。私を信用なさい。スリランカには悪い人はいないよ。」と答える。

深夜にも関わらず、結構な数の老若男女がバス停に立ち、これから仕事に向かうらしい。その傍らを野良犬か飼い犬かわからないような犬がとぼとぼ歩いている。

2) ヌワラエリヤへ出発

目的のホテルに着くと研究責任者は早速、目指すヌワラエリヤ県の紅茶農園に行く準備を行う。レンタカーとドライバーを手配し、ミネラルウォーターも大量に調達する。翌日の夜明け前にはホテルを出発し、タミル語通訳を伴い3泊4日の農園調査に向かう。うとうとしながら車に揺られること数時間、気がつけばあたりはうっすらと霧がかかり、大きな椰子の葉には朝露がキラキラと濡れ輝いている。車の窓ガラスから見えるその光景は、まさしく銀幕の世界である。早朝にはすらりとした女性たちが、麻の袋や籠を背中負い細い釣竿のようなものを持ち裸足で茶畑に向かっている。7時頃には、まっ白な制服を着た小中学生が登校

1 三重大学医学部看護学科

2 岡山県立大学保健福祉学部

している。この国では公共交通機関として鉄道が国の周囲をぐるりと囲むが、人々の移動はバスが主体である。内陸部にもバスが縦横無尽に走り、かなりの山奥でもバスを見かける。殆どのバス停には小さな売店があり、早朝から営業している。

3) クリニックの診察の様子

目的の農園クリニックに到着すると、その日は地区のクリニックでの定期健診日で、我々の調査はこれに便乗させていただく。スリランカの公的医療サービスは原則無料で、ここには農園労働者も含め地区の全ての妊婦が受診に来る。日本と同様に、妊娠期間中は定期的受診が推奨されており、貧血検査もなされ必要に応じて貧血の治療や総合病院での受診が促される。妊婦はクリニック管理の妊婦手帳らしきものを胸に抱え小学生のように列をなして、体重計測、血圧測定、医師の診察を静かに裸足で待っている。裸足は診察をすばやく行うためであろうか、あるいはそのような生活習慣なのであろうか。あまり裕福そうではない妊婦の多くは、はちきれんばかりのワンピースを身に着け、既にはちきれている人は全員安全ピンでとめている。一方、少数の裕福そうな立派な体格の妊婦は、美しく化粧し高価そうな絹のサリーを身に纏っている。検査室らしい部屋には、小学校の理科室で見た五徳とアルコールランプがある。検尿は、ガラス板に塗布した尿をアルコールランプであぶる方法でなされるのであろうか、あたりは尿の焦げた臭いがする。

4) 調査に協力してくれた女性たち

幾人かの妊婦は義務教育を終えないうちから、あるいは初等教育も受けないまま茶摘み労働に従事している。農園の末端作業に従事する人の殆どは後述するインド系タミル人である。数人の妊婦は小学生のような華奢な体であるが、腹部だけは妊婦であり、非妊時BMIが18以下であることは容易に推察できる。痩せた妊婦の胎児心音は、妊娠中期であってもトラウバで実によく聴こえる。殆どの女性の腕や脚にある、新旧のひっかき傷は茶木の枝による擦過傷の跡と思われる。50歳近くとおぼしき女性はまだ30代前半の若さで、手足は枯れ枝のように細いが、掌は肥厚し指は太く逞しい。また、無表情な妊婦の掌の、指紋のひとつ筋ひとつ筋に細かく染み付いた茶色い色素は茶渋であろう。一体、いつから茶摘をすればこのような手になるのだろうか。水がないからか、石鹼がないからか？教育が受けられなかったからか、タミル人ゆえか？彼女達の誕生から今日の日までの生活を想像し、ヌワラエリヤの状況を何も知らないまま紅茶を飲んできた自分

の人生は、彼女たちの人生と重なるのだと考えると、申し訳ない気持ちになる。

日本から持参したポータブルのヘモグロビン（以下Hb）計測器で検査を行うため、「血を採っていいですか？少し痛いけれど。」と尋ねると、しとやかな女性達は、はにかんだような美しい笑顔で首を横に振る。この国では顔を横に振る仕草はイエスを意味し、「何もかまわないわよ。どうぞ。」と言っているようである。バンドエイドをはり「ありがとう」とタミル語でお礼を言い、いくばくかの謝金を渡すと、さらに美しい笑顔を見せる。しかし、中には目を合わせない暗い表情の妊婦もいる。数人の質素な服装の妊婦の掌はすでに真っ黒で、消毒の前に手洗いが必要だが、それを要求できるようなクリニックの雰囲気ではない。アルコール綿は当然ながら真っ黒になり消毒はほぼ無意味である。妊婦の約60%は妊娠貧血であり、Hbが6.2g/dlと非常に低い値を示す妊婦や、妊娠10か月での初診者がいる状況であった。

茶摘み労働の女性（tea plucker）は、1日平均6-7時間の茶摘みに従事し、ノルマである18Kg/日の茶葉の賃金はわずか250ルピー（250円相当）である。茶葉の種類や銘柄によってグレードが異なるものの、世界中のおしゃれなショップで売られる高級紅茶の最初の労働対価は、これほどに少ない。世帯の平均月収は、約5000ルピー（5000円相当）未満である。食事はダールと呼ばれるレンズ豆が毎日食卓にのぼるが、鶏肉や干魚（ほとんど煮干）は月に1回くらいしか食べられない。重症貧血の妊婦は「もっと食べてね。」と言われて困った顔を見せる。

5) 広大な茶畑

人口の約10%が紅茶農園部で暮らすも、もとはコーヒー農園であった茶畑に労働者としてインドから移住してきたのがインド系タミル人である。コーヒー農園はその後、害虫による壊滅的被害を受け紅茶農園に変



茶摘みをする女性たち

わり現在に至る。ヌワラエリヤの高地は見渡す限りの大パノラマで、360度の全景に茶畑が広がり、はるか遠い山の稜線まで紅茶が植えられている。トラックが走る道も農業機器もなく全てを人力に頼った時代、この広大かつ急な山の斜面への苗木の植えつけに、どれ多くの人々の労働力が注がれたことであろうか。

6) ヌワラエリヤの生活

茶畑労働者には、山の斜面の中腹に建つラインハウスとよばれる粗末な住居が提供される。しかしそれはプライバシーが十分ではないうえ、水道や電気が整備されておらず、女性には茶摘み労働のあと水汲みや薪での炊事が待っている。また交通事情が悪く耕作地も少ない山岳地では、生鮮食品や野菜の入手も保存も難しい。そして、ヒンドゥ教徒である彼らの社会では、女性の社会的地位は相対的に男性よりも低い。女性の淑やかさ、女らしさに価値が置かれるスリランカでは、家庭の主婦は家族の最後に食事をするという習慣があり、貧しい家庭では、女性や女兒の栄養不良が更に進むことが推察される。

このような生活環境の中、農園労働における茶摘みは半ば世襲のようになり、親から子へと長い間受け継がれて来た。しかし近年、スリランカの農園部では生活改善プロジェクトによって、住環境の改善やインフラの整備が進みつつある。また、地区によっては外国のNGOが入り、給食サービスや食品の配給によって妊婦の受診率を向上させるための取り組みもある。情報網の発達や初等教育の普及などによって農園労働者の意識が変化すると、この世襲というシステムにはいずれ破綻が生じるとも考えられる。だが、現在の彼女たちの生活が目に見えて変化するのはまだ先のことである。スリランカでの調査期間中に紹介してもらった紅茶農園部出身の初老のタミル人男性は「私の両親は聡明な人であつたらしく、私を大学にまで行かせてくれました。しかし一般的に、農園の生活は相変わらず困窮したままです。」と述べていた。彼は新聞にも「茶摘を終え雨に濡れて帰っても、暖かい風呂も温まる暇もなく家事が待っている。土の上で眠ることだってある。」と、農園部の悲惨な状況を訴えている。

7) 看護教育と地区の総合病院

スリランカの公立学校は原則無償である。看護教育機関として13の国立看護学校があるが、入学者はもちろんのこと卒業生は大変なエリートである。その外にも、高校卒業後、半年から1年の訓練を経た正規の助産師と、3カ月ほどの教育を受ける助産師がいる。へき地では特に、地区の総合病院での出産が推奨され

るため、総合病院は常時分娩ラッシュである。月の分娩数は数百に達し、日本の年間分娩数に相当する規模の病院も多い。陣痛室と分娩室は区別されず広いフロアにベッドがずらりと並び、カーテンでプライバシーの確保がなされている。産褥期は母児同室で、母子のあるべき姿を保っている。黄疸が強い新生児には、母親の傍らで古風な方法による光線療法が施されている。彼女達に合掌し軽く会釈をすると、母親もまた同じように合掌し美しく微笑み返してくれる。



収穫した茶葉の計量作業

2. 町の様子と人々の暮らし

スリランカの内戦問題は1987年に発生し、反政府組織LTTE(タミル・イーラム解放の虎)は国土の北東部に拠点を置いていたが、2009年に政府は制圧宣言を行った。しかし我々が赴いた2006年は停戦中であるに過ぎず、山の中でも主要なポイント地点では検問があつた。我々が乗ったバンは爆弾の積載を怪しまれるらしく、グレイの戦闘服とベレー帽の兵士は車に停止を求める。しかし、日本人を兵士は珍しそうに眺め、通訳が説明すると問題なく通過できた。町は宗教的なお祭りの日らしく華やかな飾り物がそこかしこに施してある。我々が写真を撮っていると「あっちの被写体がいいぞ」と、人の良さそうな年配男性が教えてくれる。個人経営の食料品店には多様な種類の豆と米が量り売りされているが、このような店では生鮮野菜はあまり見かけない。

津波の後、海外の救援隊が大勢入った大都市では、皮肉なことに津波景気とでも言うのか、ホテルの宿泊料金は先進国並みに上昇したとのことである。旧首都コロomboは海岸に面し、インド洋からは南国の湿気を帯びた風が吹いて来る。「この水平線の向こうにはアフリカ大陸があって、ソマリア半島にぶつかって…」などの思いがめぐる。

地方都市では町のいたるところに「SINGER」の看板が見られる。スリランカは家庭洋裁ブームであるの

だろうと思いきや日本でいうところの「ヤマダ電機」「ケーズ電気」といった全国展開中の家電チェーン店の名称であった。大きな町にはコピー屋さんがあり、中古の富士通やゼロックスのコピー機がずらりと並ぶ。客は必要枚数を指示し、コピーは従業員にやってもらい料金は後払いのシステムである。この国ではセルフサービスはほとんどなく、地方のホテルに行くほど従業員は男性が多く、女性が仕事を得るのは難しいらしい。

3. 2009年ゴール調査によって浮き彫りにされたヌワラエリヤの深刻な問題

その後、我々は、2009年2月にヌワラエリヤでの再調査を計画した。しかし、内戦問題の再燃や諸事情を考慮し津波で被災した南部州のゴールに調査地を変更した。そこでも複数の農園や農村部の妊婦健診と健康調査生活調査を行った。

「スリランカの地方はどこもヌワラエリヤのようなもの」と思いこんでいた我々は、そこでの調査を進める中で、改めてヌワラエリヤの tea plucker 妊婦の健康状態の悪さを確認した。ゴールでは、Hbが6g/dl台の妊婦や、掌が真っ黒の妊婦など誰一人いない。皆、清潔で表情が明るく、はち切れんばかりのワンピースを安全ピンで留めた妊婦もいない。また、健診時に下肢を覆うための布を全員が持参している。中には「み

なさま、こんにちは。」と日本語で挨拶する妊婦さえおり、町の「日本フェスタ」で習ったとのことである。妊婦に対するクリニックのスタッフの対応も丁寧な印象を受ける。クリニックの医師に、ヌワラエリヤの tea plucker 妊婦の貧血について投げかけると「全く、あそこは本当に酷い状態です。そして大量に紅茶を飲む。それがまた貧血を悪化させています。」と陰しい表情で答える。

我々が宿泊したゴールのリゾートホテルは、オーストラリアやニュージーランドからの観光客で賑わっていた。愛想の良い支配人に、過去にヌワラエリヤで調査し、貧血の女性が多かったことを話すと、彼は訝しげな困惑した様子を見せる。この国の人々にとってヌワラエリヤの実態は影の部分であり、外国人に触れてほしくないのかもしれない。誰でも外国の事情を正しく理解することは不可能であり、安易な批評は慎むべきである。しかし、スリランカの人々は、ヌワラエリヤの tea plucker の健康状態や農園の生活実態に無関心であるような印象を受ける。そこには、我々が理解するには難しい複雑な民族的感情があるのかもしれない。

我々はスリランカの調査で知りえたことを公表することで、ご協力いただいた tea plucker 妊婦の皆様に感謝の意を表し、ささやかな還元をしたいと思う。また、ゴールでの詳細な調査結果は改めて報告したい。

キーワード：紅茶農園 ティープラッカー 妊婦